

第1回学校運営協議会

令和6年6月5日（水）午後2時から
徳島県立徳島中央高等学校 大会議室

1 開会

2 任命及び自己紹介

3 学校長あいさつ

4 会長・副会長の選出

会長に小坂前会長、副会長に安藝校長が選任された。

5 協議

(1) 令和6年度学校経営方針について

安藝校長から説明。

(2) 令和6年度教育課程の編成について

(3) 令和6年度学校評価計画について

夜間部（安原教頭）、昼間部（森岡教頭）、通信制（多田教頭）、
しらさぎ中学校（山田教頭）から順に説明。

(4) 学校運営協議会委員からの提言

○この活動について、県民への周知ができていなくて知らない人が多い。粘り強く広報していく必要がある。

○業務の効率化を図っていく必要があるのではないか。メールやアプリケーションで保護者への連絡をするなど。

（学校側）今回は資料が多いので紙媒体で配布した。普段はさくらメールなどを活用しているが未登録の保護者もいる。全ての保護者に登録していただきたい。

○防災に関して、生徒は広範囲から登校しており、災害時、夜間は自宅まで帰れないということも想定できる。学校もある程度は非常食などを備蓄していると思うが、学校が全員分の備蓄をするのは難しいと思う。一人一人が自分の防災セットを準備すべきだと思う。

（向井事務課長）徳島市の備蓄品を使うことができる。

○行政側の負担も大きい。個人の防災グッズを置くスペースがあってもよいのではないか。一人一人が自分のための防災用品を準備する必要があると思う。

○最低でも1週間はそこで生活できる支援が必要ではないか。

○生徒の避難や、地域住民が避難してきたときの対応マニュアルなどが必要。

○地域と連携した避難所経営について検討してほしい。

○専門分野の方を呼ぶことについて以前にも提案されていて、一度も叶えられていない。専門家を呼び、どうみんなを誘導していくかなど、指導者はしっかり知識を

身につけることが必要。一番正しい避難の流れを教えていただけたらよいと思う。
正しい情報と知識を生徒に身に付けさせてあげたい。

- 電子黒板を利用しているようだが、無くてもどんなことができるか、考えていくことが大切。
- 学校は数値をあげる為に苦勞している印象。目前の生徒の為になることをするのが一番。
- 評議員は実質的なことを求めている。できなかつたから駄目というのではなく、何が足りなかつたか、我々にも教えていただければ議論する材料につながる。
- 意見を述べれば学校に苦勞させてしまうように思える。
- 運営協議会委員一人一人は得意分野を持っているので、役立ててほしい。
- 小さなことでも HP に掲載し、情報共有させてほしい。
- 卒業式に出席させていただいた。素晴らしい卒業式だったので、会長にも是非参加していただきたい。

(5) その他

藤本教頭より今後の予定について連絡

6 閉会